

交通安全の意識向上は

～ 交通安全意識の高揚への取り組みを進める ～



え とう たつ や
衛 藤 竜 哉

市民クラブ

質 交通安全協会豊後大野支部、各分会、女性ドライバー協議会等の活発な組織活動を行い、朝夕と交差点や子どもたちの通学路、交通量の多い沿線等でボランティア活動をしていた。いただき感謝と敬意を表します。

市内での交通事故をなくし、さらなる啓発活動を推進するために何が必要と考えられるか。



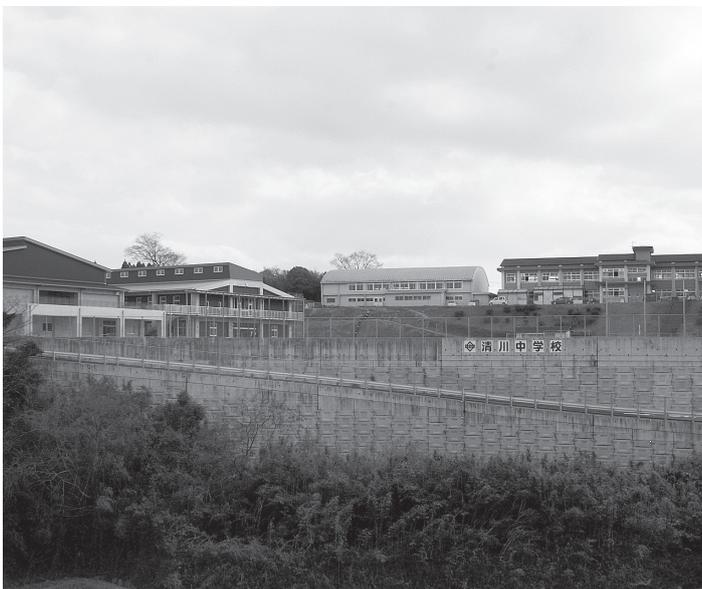
交通安全街頭指導の様子

答 市長 本市における交通事故情勢は、年々減少傾向にあり、発生件数、人口比率における発生割合とも県下で下位にあります。重大事故は毎年発生しているのが現状です。

本市では、交通安全対策協議会を設置して、今後も関係機関・団体との連携をさらに密にして引き続き交通事故抑止に向け、取り組んでいきます。

将来の中学校適正配置を検討すべきでは

～ 小・中一貫教育の推進で課題を克服していく ～



清川中学校（左）と小学校（右）

質 中学校の体育祭が人数的に年々寂しくなっており、少子化で仕方がない、これで良いのでしょうか。部活動も人数不足で単一校ではチームができない現状である。

答 教育長 三重中学校以外、体育祭などの行事や運動部活動は少人数の弊害が見られるのも事実です。運動部活動は今のところ、合同部活動にかわる有効な打開策はありません。

現在の通学区域の見直し等については、慎重に判断していく必要があると考えます。



かわのゆうじ
川野 優 治

緑 政 会

市職員の政治的行為について

～ 適切に指導を行っていく ～

質

市職員は政治的行為が禁止されているが、その根拠は。

答 市長

地方公務員法第36条では政治的行為を制限しており、職員の政治的中立性を確保することにより、地方公共団体の業務の公正な運営を保障する等規定されています。

今後も職員の政治的中立性に対する疑惑を招かないよう、また、

質

勤務時間外はどのように考えているか。

答

総務課長

勤務時間内外を問わないということになっており、時間外においての政治的な行為を行うことは許されないと解釈しています。

質

住宅地の近くにメガソーラーがつくられ、宅地に雨水の排水が流れ込んだり、調和のとれたまちづくりが阻害される等の問題が生じている。何らかの規制を加えるべきではないか。

※ メガソーラーに対する規制を 考えるべきでは

～ 規制の必要性を検証する ～

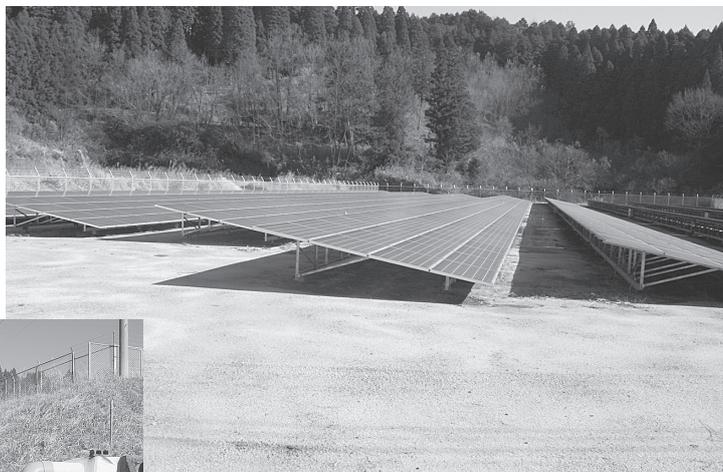
答

環境衛生課長

設置者である事業者や土地所有者などが排水対策やトラブルの解決を行うことが原則であると考えます。

現行法上は十分な効果を上げうる規制はな

いが、今後は他の自治体等と連携を図りながら、本市の地域条件にふさわしい規制の必要性について、十分調査、検証していきたいと考えます。



太陽光第3発電所 (旧上緒方小学校跡)

※メガソーラー＝出力1メガワット(千キロワット)以上の大規模な太陽光発電。